

虚子記念文学館投句特選句

・令和七年十一月

稻畑廣太郎 選

落葉よく掃かれ虚子館客を待つ

新潟 安原 葉

日の温み石蕗の花にも及び来し

大阪 綿谷千世子

草雲雀真水のゞとき空紡ぎ

岡山 石井宏幸

さよならの次の言葉を繰る夜寒

大阪 森重深鶴

綿虫やふる里出でず七十年

徳島 多田まさ子

帰り花日向は人をやさしうす

兵庫 二瓶美奈子

少しづつ変はりゆく街金木犀

神奈川 野末トヨ

獺祭てふ古を呼ぶ新酒かな

兵庫 吉村玲子

十一月死者みな親し十字切る

兵庫 岩鼻絹子

大会の後の乾杯冬銀河

兵庫 武田奈々
(青少年)

